

# 呉の景気観測（D I方式）

- 令和4年3月調査結果 -

呉商工会議所

呉市企業の景況は、製造業は大幅悪化も非製造業は大幅改善で、前期に比べ悪化の推移  
ウクライナ情勢や原材料の高騰等不安材料増加し、先行き不透明で厳しい状況が続く

- ・調査方法 郵送によるアンケート調査
- ・調査内容 景況のほか、生産額・売上額など10項目について
- ・令和4年3月を前年同月と比較
- ・令和4年4月～6月の先行き見通しを令和4年3月と比較
- ・調査時期 3月中・下旬
- ・調査対象 呉市内の業種別主力企業99社  
(回答76社、回収率76.8%)

- ・3月の景況を見ると、下の表の通り、  
**総合（全業種）** D I（良い-悪い）は△21.8→△23.7と、全体では前期に比べ、1.9ポイント下降の推移。  
**業種別**では、**製造業**は、約5.9割の企業が横ばいの回答で、D Iは△8.9→△21.4と大幅に悪化した。  
**非製造業**は、約5.0割の企業が横ばいの回答で、D Iは△39.4→△26.5と大幅に改善した。

**【D I方式について】**  
D I（ディフュージョン・インデックス）は、各調査項目について判断の状況を示す。  
ゼロを基準として、プラスの値は景気の上向き傾向（「良い」）をあらわし、マイナスの数値は景気の下向き傾向（「悪い」）をあらわす。  
D I = （増加・好転等「良い」の回答割合）  
－ （減少・悪化等「悪い」の回答割合）

- ・4～6月の先行き見通しでは、  
**総合（全業種）** D Iは△20.5→△25.0と、悪化で推移する見通し。  
**業種別**では、**製造業**は、D Iは△13.3→△23.8と大幅に悪化する見通し。  
**非製造業**は、D Iは△30.3→△26.5と改善する見通し。

**総合（全業種）**では、△21.8→△23.7と、呉市の景況は前期に比べ、1.9ポイント下降の推移。来期は△20.5→△25.0と、前回予測と比較して悪化の見通し。

**業種別概況**は、製造業は大幅に悪化し、非製造業は大幅に改善の動きとなった。3月調査による4～6月先行きDI数値は、令和3年12月調査による令和4年1～3月先行き見通しに比べて製造業は大幅に悪化し、非製造業は改善する見通しで推移する予測。

**呉市の景況**は、製造業は大幅に悪化するも、非製造業は大幅に改善で、全業種として悪化の動きとなっている。製造業は、「国内外の需要が改善」「受注が回復傾向」等、好調要因があるも、「原材料の高騰」「半導体不足の影響」等、売上・収益が悪化。造船関連は、一時的に仕事量が増加している模様だが、航空関連は依然として厳しい状況が続く。非製造業は、建設業は「部品不足」「消費マインド低下」等で悪化。小売店では「観光客の増加」で明るさも見受けられるも、「全体として客数の減少」「家族との外出自粛」等、コロナ禍の影響で依然として売上げが厳しい。ホテル関連も、引続きコロナ禍の影響により厳しい状況が続く。

**令和4年度の業界動向の見通し**は、ウクライナ情勢や原材料の高騰など、不安材料の増加で、先行き不透明で厳しい状況が伺える。「コロナ禍の影響」「原材料高騰」「半導体不足」等の問題が解消されれば、売上・収益の改善につながるとの見方が多い。

## 業種別景況D I

	2021年 12月 実績	2022年 3月 実績	今 期			12月調 1～3月 見通し	3月調 4～6月 見通し	来 期		
			回答社数構成比 (%)					回答社数構成比 (%)		
			好転	横ばい	悪化			好転	横ばい	悪化
総合（全業種）	△21.8	△23.7	10.5	55.3	34.2	△20.5	△25.0	6.6	61.8	31.6
製造業	△8.9	△21.4	9.5	59.5	31.0	△13.3	△23.8	4.8	66.7	28.6
非製造業	△39.4	△26.5	11.8	50.0	38.2	△30.3	△26.5	8.8	55.9	35.3
建設業	△33.3	△50.0	0.0	50.0	50.0	△50.0	△66.7	0.0	33.3	66.7
卸売業	△35.7	△21.4	14.3	50.0	35.7	△21.4	△21.4	0.0	78.6	21.4
小売業	△60.0	△20.0	20.0	40.0	40.0	△20.0	△20.0	20.0	40.0	40.0
サービス業	△37.5	△22.2	11.1	55.6	33.3	△37.5	△11.1	22.2	44.4	33.3

## 呉市の業種DI(R2.3～R4.3)

